小田原市スポーツ施設整備基本計画（案）　概要版

計画の目的

本市の公共スポーツ施設は、その多くが経年による老朽化が進み、施設ごとに様々な課題を抱えています。そこで、効率的な管理運営や利用者サービスの向上を図るとともに、老朽化の進行や利用状況、市民ニーズ等を踏まえた今後のスポーツ施設のあり方を検討し、市民の主体的なスポーツ活動を支える環境を整備するため『小田原市スポーツ施設整備基本計画』を策定します。

対象施設と関連施設

次の施設を対象施設とし、街区公園等・公民館等・県有スポーツ施設・民間スポーツ施設を関連施設に位置付けます。

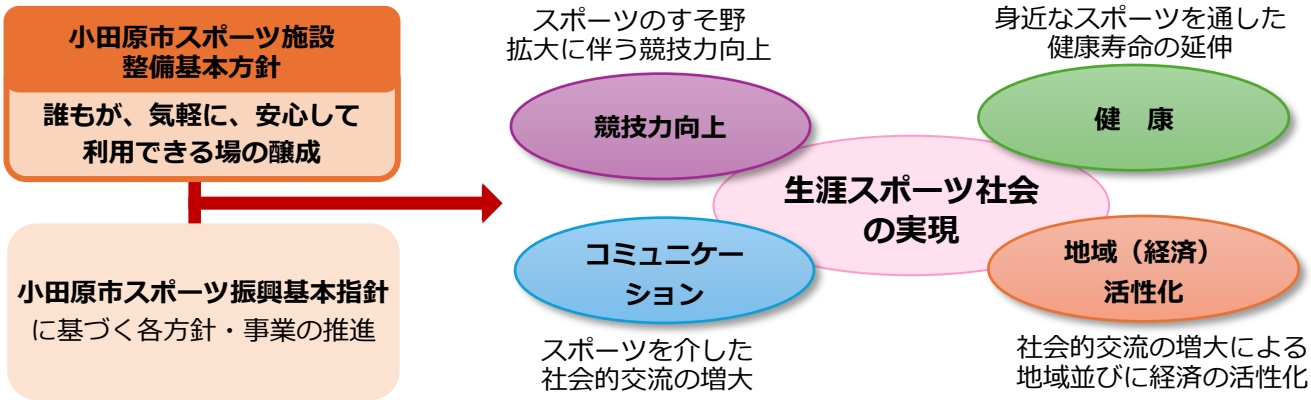
No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
1	小田原アリーナ	7	御幸の浜プール	13	上府中スポーツ広場
2	小田原テニスガーデン	8	酒匂川スポーツ広場	14	上府中バスケットコート
3	城山陸上競技場	9	鴨宮運動広場	15	学校体育施設開放対象施設
4	小峰庭球場	10	酒匂川左岸サイクリング場	16	学校運動場照明施設
5	城山庭球場	11	酒匂川サイクリングコース	17	学校プール開放対象施設
6	城内弓道場	12	小田原球場	18	小田原スポーツ会館＊

＊施設の利用形態から公共施設に準ずる施設として位置付ける。

スポーツ施設整備に向けた基本的な考え方

（１）基本方針

様々な利用者の目的に応じるとともに、スポーツとの幅広い関わり方を未来にわたって想像できるような持続可能な施設を整備していくため、「誰もが、気軽に、安心して利用できる場の醸成」を基本方針として定め、本市スポーツ振興のテーマである「生涯スポーツ社会の実現」を目指していきます。



（２）実施方針

実施方針１：施設の利用特性に応じた整備

【想定される主な事業】
- 施設の老朽化対策と長寿命化改修
- 既存施設の再整備（建替え）　等

実施方針２：利用者ファーストの機能向上

【想定される主な事業】
- 多様性に対応したユニバーサルデザイン等の導入
- 身近で気軽な機会・場の創出　等

実施方針３：健全経営に向けた運営

【想定される主な事業】
- 施設管理・運営の効率化と手法の見直し
- 施設使用料の見直し　等

実施方針４：多様な主体との連携強化

【想定される主な事業】
- 既存施設や新規施設の整備における公民連携(PPP・PFI等)の促進　等

スポーツ施設の評価と方向性

市有スポーツ施設の現状調査結果等を踏まえながら、安全性・機能性、経済性による各施設の評価と、将来的な新規施設整備による影響により、各施設の整備方針を定めました。

（１）整備方針の内容

整備方針	内　容
長寿命化	現在の施設をより長く使用するために、計画的かつ予防的に改修等の保全を行い、現状の基本的な機能を維持しながら良好な利用環境を保つ。
機能改修 **（耐震化含む）**	施設に不足する機能を補うとともに、建物や設備の劣化（旧耐震含む）対策を施すことを目的に改修（再整備）する（同一敷地内の再整備も含む）。
機能移転	現施設が著しい劣化等によって利用困難となった場合は現施設を廃止し、相当程度の市民ニーズがあった場合は、市内の同種施設等へ機能移転する。

（２）市有スポーツ施設の整備方針

No.	施設名称	安全性・機能性				経済性			将来的な新規施設整備による影響	整備方針
		安全性	耐震性	機能性	評価	利用者数	収支状況	評価		
1	小田原アリーナ	○	○	○	良	→	→	→		長寿命化
2	小田原テニスガーデン	○	○	○	良	→	→	→		長寿命化
3	城山陸上競技場	○	○	×	劣	○	○	良		機能改修
4	小峰庭球場	○	○	×	劣	×	×	劣	○	機能移転
5	城山庭球場	×	×	○	劣	○	○	良		機能改修
6	城内弓道場	○	○	○	良	→	→	→	○	機能改修
7	御幸の浜プール	×	×	×	劣	○	×	劣		機能移転
8	酒匂川スポーツ広場	○	○	○	良	→	→	→		長寿命化
9	鴨宮運動広場	○	○	×	劣	○	—	良		機能改修
10	酒匂川左岸サイクリング場	×	○	×	劣	×	—	劣		機能移転
11	酒匂川サイクリングコース	○	○	×	劣	○	—	良		機能改修
12	小田原球場	○	○	○	良	→	→	→		長寿命化
13	上府中スポーツ広場	○	○	×	劣	○	○	良	○	機能改修
14	上府中バスケットコート	○	○	○	良	→	→	→		長寿命化

スポーツ施設の事業計画

各施設の整備方針を踏まえ、具体の事業と計画を定めます。

施設名	具体事業	事業計画							
		短　期						中　期	長　期
		2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	2028（R10）	2029（R11）	2030（R12）	2031～2040 R13～R22	2041～ R23 ～
市有スポーツ施設全般	持続的な機能維持・運営に向けた日常的な維持修繕ほか、定期的な点検や改修	実施							
	各種手続きの利便性向上に向けた見直し（ペーパーレス、予約システム等）	調査・検討・実施							
	財源の確保（利用料の見直し、駐車場有料化、ネーミングライツ等）	調査・検討・実施							
小田原アリーナ	利用者ニーズに対応した改修等（トイレの機能改修、駐車場、エンタメ対応等）	調査・準備・実施							
	未利用エリアの有効活用（３階スペース、前庭）	調査・検討・実施							
	環境に配慮した設備への改修・更新（再生・省エネルギー設備導入等）	調査・準備・実施							
	災害時に対応可能な施設・設備改修（マンホールトイレ等）	調査・準備・実施							
	更新（建替え）の検討								実施
小田原テニスガーデン	利用者ニーズに対応した改修（トイレの機能改修等）	調査・準備・実施							
	人工芝の定期的な張替え			南側実施				北側実施	前回から10~15年を目途に実施
	環境に配慮した設備への改修・更新（再生・省エネルギー設備導入等）	調査・準備・実施							
城山陸上競技場	利用者ニーズに対応した改修等（電光掲示板、照明、観客席等）	調査・準備・実施							
	公認競技場継続に対応した改修				準備・実施			5年ごとに準備・実施	
小峰庭球場	市営テニスコートの集約化（城山庭球場へ機能移転）							実施	
城山庭球場	利用者ニーズに対応した改修等（コート・管理棟・トイレ等の再整備）		調査・準備・実施						
	施設管理・運営の効率化（指定管理制度の導入）							実施	
城内弓道場	代替施設（複合武道場）への機能移転							調査・準備・実施	
御幸の浜プール	代替施設の検討（民間施設や広域利用等）	調査・検討・実施							
酒匂川スポーツ広場	冠水時の代替地の調整、減災・早期復旧に向けた取組	実施							
	移転候補地・移転方法の調査	検討・実施							
鴨宮運動広場	利用者ニーズに対応した改修(グラウンドの再整備、フェンスの改修等)			実施					
酒匂川左岸サイクリング場	代替地への機能移転（他施設との複合化）				調査・準備・実施				
酒匂川サイクリングコース	利用便性・快適性向上のための修繕・改修	実施							
上府中公園内スポーツ施設	施設の機能向上に向けた改修（スポーツ広場再整備、駐車場創設等）							調査・準備・実施	
学校体育施設・学校プール開放施設	運営方法の見直し（予約・利用の方法、鍵の貸出方法等）	検討・準備・実施							
学校運動場照明施設	利用者ニーズに対応した改修（LED化等）	実施							
小田原スポーツ会館	所有者による延命化に向けた取組の支援（建物・設備の修繕・改修等）	検討・支援							
	代替施設（複合武道場）への機能移転							調査・準備・実施	

新たなスポーツ施設整備に関するモデルプラン

（１）上府中公園への新たなスポーツ施設の可能性

新たなスポーツ施設の整備候補地としては、整備コストを抑えるため、用地取得の必要がない公用地であること、一定規模の駐車場を有していること、多世代の交流が可能な場所であること、さらに新たな施設を整備するために必要な面積を有することなどを考慮し、市内で調査した結果、最も望ましい場所を上府中公園としました。

①パークゴルフ場

パークゴルフ場は、かねてから本市へ根強い整備要望が多数寄せられており、利用者にとってより身近な施設の整備が望まれています。また、利用者数が相当数見込まれることから、収益性が高く安定した運営も期待できます。

整備にあたり、上府中公園内の多目的広場周辺及び池東側の植栽エリアを活用した18ホールの公認コースを想定しています。

整備スケジュール（案）

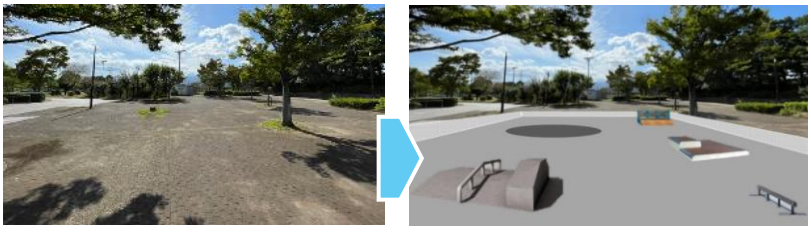
令和７年度（2025年度）～令和８年度（2026年度）：現地詳細調査／周辺地域説明／運営手法検討／予算要求

令和９年度（2027年度）～令和10年度（2028年度）：運営手法検討／設計・整備／条例改正／運用開始

②スケートボードパーク

上府中公園は、スケートボードの利用が認められている唯一の公共施設ですが、場所や日時に制限を設けていても、子ども達が遊ぶ場所での共用利用が危険な印象を与えてしまう一方で、近年の人気の高まりを考慮すると、専用施設の整備が望まれています。

整備にあたり、上府中公園の親水広場付近とし、スケートボーダーと一般の公園利用者の安全性を両立した、初心者用の場を想定しています。



整備スケジュール（案）

令和７年度（2025年度）～令和９年度（2027年度）：現地詳細調査／周辺地域説明／運営手法検討／予算要求

令和10年度（2028年度）～令和11年度（2029年度）：運営手法検討／設計・整備／条例改正／運用開始

（２）上府中公園のスポーツ機能向上及び複合武道場の検討

上府中スポーツ広場は、将来的にはフルサイズのサッカーピッチに拡張することを検討します。

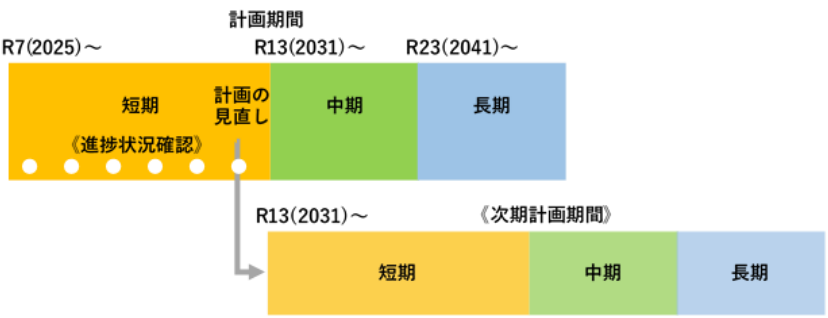
また、本市は武道場を有しておらず、剣道等の武道系競技は主に小田原スポーツ会館等で実施されていますが、施設の老朽化に加えて空調等の設備がないことから、将来的には代替施設の検討が必要とされています。

城内弓道場は、経年劣化が進行することに加え、史跡小田原城跡に立地するため、改修等に一定の制約が生じることから、将来的に移転を検討する必要があります。

そのため、武道場と弓道場を兼ね揃えた複合武道場を整備することを検討します。

なお、その際は経費削減や公民連携手法等を検討し、時期を見定めながら、計画的に進めます。

計画の実現に向けて

計画に基づく改修や整備等の進捗状況を確認したうえで、必要に応じて市スポーツ推進審議会等に情報提供を図るとともに、短期計画期間終了までに計画の見直しを行います。

また、庁内横断的な連絡調整を図るなど、他部署との連携を強化し、計画実現に向けた協議及び進行管理を行っていきます。